

空白
(2535 mm)
提出時はこの枠線
を消して下さい。

講演題目 – [MS明朝等12 pt]

(東京薬大薬¹、東京薬大生命²) ○薬学太郎¹、八王子高雄² – [11 pt]
(1行あける)

Title of the Paper – [Times 12 pt]

Taro Yakugaku¹ and Takao Hachioji² – [Times New Roman 11 pt]

¹ School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences

² School of Life Sciences, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences –
[11 pt Italic]

(1行あける)

【作成方法】

1. 余白など

A4判サイズに、上下左右各25 mmのマージンを取ってください。ページ数は1ページとします。

ページの左上部には25 × 35 mmの空白(上記枠)を取ってください。上記枠は講演番号を入れるためのスペースを示すものであり、便宜上記してありますが実際の要旨には不要です。提出時に枠線と枠内中の注意書きの削除をお願いします。

2. 表題について

例のように、タイトル、著者氏名、所属を日本語および英語で記載してください。但し、英語での発表の場合、日本語タイトル等は不要です。タイトルのフォントサイズは12ポイント、著者氏名及び所属機関は 11 ポイントを標準とします。フォントの種類はいずれも日本語は明朝タイプ(MS明朝体、平成明朝体など)、英語はTimes, Times New Romanを標準とします。

なお、発表者には○印(日本語)、下線(英語)を付けてください。著者の所属機関が複数の場合、著者氏名の末尾に上付きで数字を付記し、所属機関に上付きで対応する数字を付記してください。上付の位置は、日本語表記の場合は末尾に、また英語表記の場合は先頭として下さい。

3. 本文について

表題・発表者・所属から1行あけて、要旨原稿の本文の記述を開始してください。本文のフォントサイズは10ポイント、日本語は明朝タイプ(MS明朝体、平成明朝体など)、英語はTimes, Times New Roman を標準とします。本文は【目的】、【方法】、【結果及び考察】、【謝辞】、【文献】など適当なセクションに分けて記述して下さい。

4. 図表など

図や表は、原稿の適当な位置に貼りつけてください。印刷時に十分に判読できる程度の大きさになるように作成してください。なお、原稿は全て白黒で印刷致します。要旨にカラーの図表が含まれている場合でもカラー印刷は致しません。グラフのデータ等に区別が必要な場合は色ではなく、線や網のパターン、点形状等で区別することをお勧めします。

5. 要旨の投稿

作成した講演要旨原稿のWordファイルをPDFファイルに変換してください。講演申込フォームからwordファイルおよびPDFファイルの両方をご提出ください。なお、ファイル名およびメールタイトルは「BMAS2025講演要旨-講演者氏名」として下さい。